



令和5年度学校だより

学校教育目標

ふたば

『心豊かでたくましい子供』

No.14 令和6年3月25日

甲府市立千塚小学校

文責:校長 青嶋和幸

1年間ありがとうございました

1. 6年生は201日, 2. 3. 4年生は202日, 5年生は203日の令和5年度が今日で終わりました。5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し, 以前の日常が戻ってきたといっても, その余波が色濃く残る中で学校生活でしたが, 何とか本日の修了式を迎えることができました。子供たちの安心・安全面にご配慮いただき, 毎日の健康観察や行事の変更など, 様々な面でご協力いただきました。この一年間, 千塚小学校を日々支えてくださった保護者及び地域の皆様方に, 心より深く感謝申し上げます。

各担任から, 「千塚の子」が一人一人に渡されたことと思います。この中には, 一年間の子供たち一人一人の成長が記されています。学習面の成長, 生活面の成長等, 一人一人の歩みは違って当たり前です。「誰か」と比べるのではなく, 一年前の自分と比べ, 成長を振り返る機会としていただきたいと思います。

すばらしい卒業式

3月21日(水)に, 令和5年度卒業証書授与式が行われました。5年生が準備・参加する中, 厳粛で心温まる素晴らしい式となりました。今回の卒業証書授与式で, 今年度卒業生69名を含む10,893名もの卒業生を送り出すことができました。また, 5年ぶりに何の制限もない卒業証書授与式でしたが, 検討を重ね, コロナ禍以前より少し式の時間を短縮して, 実施いたしました。

全校のリーダーとして, 一年間千塚小を引っ張ってくれた卒業生。リーダーとして, 一人一人の背負う責任は大きかったと思いますが, みんなで協力しながら最後までやり遂げてくれました。卒業生の活躍で, 令和5年度も充実したふたば会活動を行うことができました。

はなむけの言葉の最後に, 相田みつをさんの「道」という短い詩を紹介しました。

「道」

歩くから道になる

歩かなければ草が生える

思い切って一步を踏み出せば, そこに道は開けます。一步を踏み出さなければ, 周りには草が生えてしまい, 進むべき道が見えなくなります。卒業生が小学校生活で経験したコロナ禍のように, これから先, 楽しいことばかりでなく, 不安なこともたくさんあると思います。そんなときでも, 一人一人が自分の人生の主人公らしく, 勇気をもって一步を踏み出してほしいと思っています。卒業生が, 中学校, そして未来で輝き続けることを心より祈っています。

